

はじまる、まるのうちステージ

4月25日(木)～5月2日(木・休)・5月6日(月・振休)

伝統と革新、おわりとはじまり、
境界の時代に活躍する気鋭のアーティストが丸の内に大集合！
はじまりの大型連休を、華やかなステージでお楽しみください。

Opening Special Stage オープニングスペシャルステージ 4月25日(木) 12:00～@丸ビル1Fマルキューブ

華道家 假屋崎 省吾氏が手掛けた、「新たな時代」をイメージしたいげばなインスタレーションをお披露目
また、書道家 青柳 美扇氏が甲冑姿で「新元号」を描くライブパフォーマンスを実施。お二人のトークセッションもぜひお楽しみください。

※椅子席は、事前抽選にて当選した方のみのご案内です。当日は立ち見観覧エリアにてご観覧をお願い致します。

假屋崎 省吾

華道家。Kariyazaki Flower Professional Education School 主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評され、繊細かつ大胆な作風と独特の色彩感覚には定評がある。日本はもとより世界各地で日本伝統文化の「華道」を広める活動にも精励する。



青柳 美扇

アジア最大級のイベント JAPAN EXPO THAILAND 2017 にオープニングアクトとして出演。2020年東京オリンピック文化公認オリンピックアクト『東京キャラバンin 京都2017』『東京キャラバンin 秋田2019』にも書道家として出演し、多数のメディアにも出演。手塚治虫原作『どろろ』の題字を担当。

※作品は、4月25日(木)のオープニングステージ以降、5月6日(月・休)まで丸ビル1Fマルキューブにて展示致します。
※ステージイベント中は撮影をお断りする場合がございます。

時間・会場	出演者(楽器略称)	楽器・演目等
4月25日(木)		
17:00-18:00 丸ビル	川嶋 志乃舞 (東京藝術大学卒業生)	津軽三味線(キラキラシャミセニスト)
4月26日(金)		
12:00-13:00 丸ビル	瀧北 榮山 長谷川 将山 青木 滉一郎 (東京藝術大学卒業生)	尺八
17:00-18:00 丸ビル	中田 大梧 (東京藝術大学4年生)	箏曲生田流 共演: ヴァイオリン大島 理紗子(東京藝術大学4年生)
4月27日(土)		
14:00-14:30 丸ビル	KYOKO / 落語芸術協会	和妻(日本古来の手品)
14:30-15:00 丸ビル	林家 花 / 落語芸術協会	紙切り
17:00-17:30 丸ビル	鏡味 よし乃 / 落語芸術協会	大神楽曲芸
17:30-18:00 丸ビル	三遊亭 遊雀 / 落語芸術協会 (アンサンブル・クレマティス) 山本 容子(vn) 一宮 恵子(電子オルガン) 今瀬 康夫(hr) 野村 紀子(hp)	落語×音楽
4月28日(日)		
14:00-14:30 丸ビル	久保田 祐司 / 街角に音楽を	津軽三味線
14:30-15:00 丸ビル	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック
15:30-16:00 丸ビル	翁家社中	大神楽曲芸
16:00-16:30 丸の内オアゾ	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック
17:00-17:30 丸ビル	久保田 祐司 / 街角に音楽を	津軽三味線
17:30-18:00 丸ビル	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック

時間・会場	出演者(楽器略称)	楽器・演目等
4月29日(月・祝)		
14:00-14:30 丸ビル	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック
16:00-16:30 丸の内オアゾ	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック
17:00-17:30 丸ビル	鏡味 味千代 / 落語芸術協会	大神楽曲芸
17:30-18:00 丸ビル	KYOKO / 落語芸術協会	和妻(日本古来の手品)
17:30-18:00 新丸ビル	あっぱれ吉沢屋 / ヘブナーアーティスト	和風マジック
4月30日(火・休)		
14:00-14:30 丸ビル	大川 義秋 / 街角に音楽を	箏
14:30-15:00 丸ビル	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO
16:00-16:30 新丸ビル	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO
17:00-17:30 丸ビル	大川 義秋 / 街角に音楽を	箏
17:30-18:00 丸ビル	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO
5月1日(水・祝)		
14:00-14:30 丸ビル	林家 花 / 落語芸術協会	紙切り
14:30-15:00 丸ビル	KYOKO / 落語芸術協会	和妻(日本古来の手品)
17:00-17:30 丸ビル	鏡味 味千代 / 落語芸術協会	大神楽曲芸
17:30-18:00 丸ビル	桂 歌若 / 落語芸術協会 (花岡 詠二 スキミング・ショッツ) 花岡 詠二 (cl) 佐久間 和(gt) 武田 将(ヴィブラフォン) 加藤 人(bass) 楠堂 浩己(dr)	落語×音楽
5月2日(木・休)		
14:00-14:30 丸ビル	ダイアン吉日	「落語とミニトーク ～笑いでココロもカラダも健康に～」
14:30-15:00 丸ビル	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO
16:00-16:30 丸の内オアゾ	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO
17:00-17:30 丸ビル	ダイアン吉日	「落語とミニトーク ～笑いでココロもカラダも健康に～」
17:30-18:00 丸ビル	我人 / ヘブナーアーティスト	津軽三味線 DUO

Cast Information 出演者情報

川嶋 志乃舞
(東京藝術大学卒業生)
東京藝大出身のキラキラシャミセニストは、伝統芸能ポップアーティスト!日本武道館や海外での演奏を経験。4度の日本一獲得の実力を誇る三味線の音色を、古典邦楽等からヒントを得た作詞や、小粋でオシャレなポップな作曲で新たなニッポンを繰り広げる。
4月25日(木) 17:00-18:00

中田 大梧
(東京藝術大学卒業生)
3歳より母・野田美香の影響で箏を始める。17歳より地歌三絃・生田流箏曲を帯名久仁子氏に師事。平成18年度 フランス大使館などの後援による「日仏芸術文化協会派遣・日仏こども音楽隊フランスコンサート」に参加。平成30年度 宮城道雄記念コンクールにて地歌「残月」で第二位受賞。平成30年度 東京藝術大学 芸術祭において、自主企画演奏会「OKOTO」を主催し満員御礼の好評を博す。
4月26日(金) 17:00-18:00

共演者(ヴァイオリン)
大島 理紗子
(東京藝術大学卒業生)
愛知県出身。第68回全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門高校の部全国大会第1位、2018年ウィーン・ベートーヴェン国際コンクール最高位ほか受賞多数。現在清水高師氏に師事。東京藝術大学音楽学部4年在学中。

KYOKO
1996年、舞台勉強のため、ニューヨークへ単身留学。帰国後は国内外のマジックコンテストにおいて数々の賞を総なめにする。2003年に(社)日本奇術協会「ベストマジシャン」第一位に選ばれている。近年は着物姿で行う独自のスタイルを完成させ、海外のメディアから注目されている。

瀧北 榮山
(東京藝術大学卒業生)
1993年 福岡県出身。尺八を宮地牙山師、三好莞山師に、三曲合奏を富山清琴師(人間国宝)に師事。2016年「岩切響一&瀧北榮山 全国コンサートツアー2016」を展開。2018年 jazzalbum「INNOCENCE」をリリース。2019年 地元福岡にて「第1回 瀧北榮山尺八リサイタル」を開催。都山流尺八楽会 准師範・師範試験共に首席登第。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。
4月26日(金) 12:00-13:00

長谷川 将山
(東京藝術大学卒業生)
1994年 神奈川県出身。藤原道山に師事。レパートリーは古典から現代まで多岐にわたる。レコーディングや演奏会の企画一&瀧北榮山 全国コンサートツアー2016」を展開。2018年 jazzalbum「INNOCENCE」をリリース。2019年 地元福岡にて「第1回 瀧北榮山尺八リサイタル」を開催。都山流尺八楽会 准師範・師範試験共に首席登第。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。
4月26日(金) 12:00-13:00

青木 滉一郎
(東京藝術大学卒業生)
琴古流尺八を、祖父である二代青木鈴墓(人間国宝)、父である三代青木鈴墓に師事。第28回市川市文化振興財団新人演奏会コンクールで優秀賞受賞。東京藝術大学卒業に際して、皇居における音楽大学卒業生による御前演奏会に出演。NHK-FM「邦楽のひととき」出演。ロシア、中国でのコンサートに出演。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。
4月26日(金) 12:00-13:00

翁家社中
翁家 和助 東京都西東京市(田無)出身。1995年、国立劇場第一期大神楽研修生になる。1999年に前座修了し、翁家 和楽と入門。翁家 小花 大阪府大東市出身。2004年、国立劇場第三期大神楽研修修了。翁家小楽に入門。

Cast Information 出演者情報

桂 歌若
青森県弘前市出身。昭和62年3月 桂歌丸へ入門。平成3年9月 ニッ目昇進、平成13年5月 真打昇進。
あっぱれ吉沢屋
東京都ヘブナーアーティスト。世にも珍しい歌舞伎マジックショー!「舞踊物」「世話物」「松羽目物」それぞれの面白さを、わずか30分にぎゅっと凝縮した歌舞伎の魅力満載のパフォーマンス!

三遊亭 遊雀
千葉県船橋市出身。昭和63年2月 柳家権太楼に入門。前座名「さん太」平成30年10月 ニッ目昇進。「三太楼」改名。平成13年9月 真打昇進。平成18年10月 三遊亭小遊三へ入門。「三遊亭遊雀」落語芸術協会に入会。

林家 花
東京都出身。林家九丸に入門。前座修行を終えて平成20年9月中席より高座出演。

鏡味 味千代
山梨県山中湖村出身。社会人経験を経て2007年4月国立劇場、第5期大神楽研修生となる。2010年3月研修終了後、鏡味勇二郎に入門。英語、フランス語に長けたバイリンガル曲芸師。

ダイアン吉日
イギリス、リヴァプール出身。英語落語の先駆者、故桂枝雀氏の「お茶子」を務めたことをきっかけに落語と出会い、1998年自ら初舞台を踏む。今までに60ヶ国以上を旅した体験談や、日本に来た時の驚き、文化の違いなどユーモアあふれるトークを交えての講演会も好評。2011年東日本大震災後のボランティア活動を機に「笑い」の必要性を痛感。2013年インドにてラフターヨガ(笑いヨガ)講師資格を取得。現在はラフターアンバサダーとして「笑い」を生活の中に取り入れ、心も身体も健康になる「笑い」の持つ無限のパワーを広く知ってもらう活動にも力を入れている。「日本には素晴らしい文化があるから大切にしないとけない。その良さを世界中の人に伝えたい。そして日本人たちにも改めて知ってもらいたい。」そんな気持ちで日々活動中。2013年、中曽根康弘賞受賞。

久保田 裕司
7歳の時にテレビの演歌番組で初めて聴いた津軽三味線の音に衝撃を受け、演奏家の道を志す。同年に佐々木光流流日本民謡三弦入門。14歳で津軽三味線全国大会優勝。NYカーネギーホールや歌舞伎座と国内外で様々なジャンルとのセッション経験を積み、「日本人にしか作ることのできないダンスミュージックを世界に」を追求し創作を続けている。2015年に新たにスタートしたダンスミュージックと邦楽ユニット「HANABI」がクールジャパン認定アーティストとなる。また日本の伝統芸能の魅力を伝えるべく能楽師 狂言方 大藏誠と「日本の風」プロジェクトを立ち上げ文化伝承にも力を注いでいる。

大川 義秋
くまもと全国邦楽コンクール本選「最優秀賞 & 文部科学大臣賞」を受賞。古典の研鑽を積み傍ら邦楽のみならず様々なジャンルの楽曲を独自のアレンジにより斬新に演奏し、筆の新たな可能性を模索する。また、津軽三味線でも北村流の名取を取得し「北村貴秋」の名で活動し、箏、津軽三味線と邦楽活動の幅を広げる。2017年に、エイベックスよりイケメン和楽器隊「桜men」メンバーとしてメジャーデビュー。筆のパフォーマンスを追求し、邦楽の古いイメージに捉われず「和楽器を自由に演奏する楽しさ」を心に置き、数多くのミュージシャンとの共演や、さまざまなステージでの演奏など、国内外問わず幅広く積極的に活動。

鏡味 よし乃
北海道函館市出身。2014年第7期国立劇場大神楽研修修了後、鏡味勇二郎に入門。2015年3月前座修行終了。